

学校教育目標	【学校教育目標】共に創り 共に歩み 共に輝く ○基礎・基本を大切に、自ら課題を解決しながら、共に学び合う力を育てます。【知】 ○他者との豊かな関わり合いの中で、互いのよさや違いを認め合い、共に高め合える姿勢を育てます。【徳】 ○健康や安全の大切さに気づき、自分や他者の生命を尊ぶことのできる、心も体も健やかな子どもを育てます。【体】 ○地域の人々や自然とのかかわりを通して生き方を学び、自らできることを考えて実践できる力を育てます。【公】 ○私たちの「まち」綱島を愛し、綱島の自然や文化の素晴らしさを受け継ごうとする態度を育てます。【開】					
	学校概要	創立 73 周年 児童生徒数: 640 人	学校長 徳江 武司 主な関係校: 新田中学校	副校長 魚住 千尋	2 学期制	一般学級: 21

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	新田中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<p>【綱島小学校】 感謝の気持ちを持ち、自他を思いやり認め合う子 — 聴く力、伝える力 —</p> <p>【新田中ブロック】 自分づくりに関する力</p>	<p>新田中学校 新田小学校 新吉田小学校 新吉田第二小学校</p>	<p>「人との関わり」や「自他の思いや願い」を大切にできる子</p> <p>「自分づくりに関する力」をブロック全体で育てたい資質・能力として設定し、各教科領域において、資質・能力を意識した授業を展開する。(ブロック小中一貫合同授業研を年2回実施。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10月児童生徒交流日に、6年生が中学校の合唱練習に参加し、交流する。 ・2月授業部活動見学(6年)を通して、中学校生活への意識を高める。

中期取組目標	<p>○子ども一人ひとりが思いや考えを持ち、共に学び合いながら、主体的・対話的に学びが深まるような教育活動を推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年目は、子どもたち全員が考えを持ち、互いに学び合おうとする姿を目指します。 ・2年目は、子どもの表現を大切にしながら共に学び合い、子どもたち全員の学び合う力が高まるように育てます。 ・3年目は、共に学び合うことで、互いに考えを深め合えることができるようにします。 <p>○綱島のまちの「人」「もの」「場所」を生かし、「感謝」「思いやり」「認め合い」「聴く、伝える」といった身につけたい力を明確にしなが、綱島を愛する「綱島魂」の心を育てます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3年間を通して、一人ひとりが自己有用感を持ち、楽しく学校生活が送れるようにします ・「感謝」「思いやり」「認め合い」「聴く、伝える」という資質・能力育成をめざした授業改善、学級経営、学年経営に取り組みます。 ・学校行事を充実することで、綱島小の一員である意識を高め、「チーム綱島」として力を発揮できるようにします。 ・通級指導教室、一般学級・個別支援学級担当との連携、情報交換、研修等を通し、チーム力向上を図ります。
--------	--

重点取組分野		具体的取組
知	確かな学力	①どの教科でも「自分の考えや思いを伝え合い、学びを深めるよさを実感できる姿」を目指して指導を行い、話し合いや学び合いから学びが深められるようにする。 ②授業を通して身に付けさせたい資質・能力を見据え、より具体的な子どもの姿を明確にもった授業創りをしていく。
担当	研究推進委員会	
徳	豊かな心	①人の役に立った、人から感謝された、人から認められたという自己有用感を高める経験を積み重ね、自己肯定感を育む②豊かな心の育成を目指して、道徳科を要として学校の教育活動を通じて行う道徳教育を推進する。
担当	人権・児童指導委員会	
体	健やかな体	①生涯にわたり健やかな体を育てていくために必要な資質能力を身に付ける学習を積み重ねる。 ②体力テストの結果をもとにして、綱島小の体力向上目標を明確にし、持続的に実現可能な取組を推進する。
担当	体力づくり委員会	
公 開	自分づくり・地域 連携	①綱島の材を生かし、本校ならではの学習の充実と展開を図り、「まち」に生きる一員としての自覚を高めていく。 ②地域との繋がりを大切にして学習を深め、関わりの中で感謝の気持ちを持ち、伝えることができる場を設けていく。③自分づくりパスポートを活用し、自らの変容や成長を捉え、自己有用感を高められるようにする。
担当	カリマネ委員会	
いじめへの対応		①日頃から児童との信頼関係を築き、いじめの兆候等どんな些細なことも真剣に受け止め、教職員で情報交換し適切かつ迅速な対応を図る。②YPアセスメントやいじめアンケートを通して、児童一人ひとりが、周りに合わせたり流されたりしない、自律した温かい集団を目指し、いじめの起きにくい環境をつくっていく。
担当	いじめ防止対策委員会	
人材育成・ 組織運営(働き方)		①教科担任制、習熟度別指導など、授業形態を工夫し、職員が連携し合うことにより、チーム力を高める組織づくりを行う。②5年次以下の職員を中心にメンターチームを組織し、研究授業や研修を通して授業力の向上を図る。 ③ICTを活用した事務の効率化や情報の共有化を図る。
担当	教務部・メンター	
特別支援教育		①個別の教育支援計画・指導計画に則り、児童個々の課題にあった教育環境となるよう支援する。②児童が落ち着いて取り組めるユニバーサルデザインを意識した授業や環境づくりをめざす。③通級職員との意見交換を密にし連携を深めることで、個に応じた教育活動を実践していく。
担当	特別支援教育委員会	
児童・生徒指導		①YPアセスメントや児童のアンケートなどを通して、児童の実態把握に努め、児童一人ひとりに寄り添った指導になるようにする。②子どもたちの社会性・規範意識を育むために、「綱島小スタンダード」を活用し、全職員が内容・意義を共有して指導にあたる。
担当	児童指導委員会	
教育課程 学習指導		①思いを伝え合える子どもの育成を目指して聴く力伝える力をつける具体的な手立てを考え、授業改善を進めるために、学年を核として共同研究をする。②学年・学校全体で実践を積み重ねるために、カリや評価の見直しをして教材研究し、授業展開等を工夫して育てたい資質・能力が身に付くようにする。
担当	カリマネ委員会	
通級指導教室		①障害種別の理解・指導・支援について教職員のスキルアップが図れるよう研修会を設ける。②インクルーシブ教育の啓発に取り組むため、学校支援等を行い、子ども達の困り感に対しての支援や合理的配慮に関して助言をする。③協働型巡回指導により通級担当教員の児童への指導・支援や担任等への助言、個別の指導計画の共有を通して、教員の専門性の向上や校内支援体制の充実を図る。
担当	通級指導教室	